

2025 年度 決算のポイント

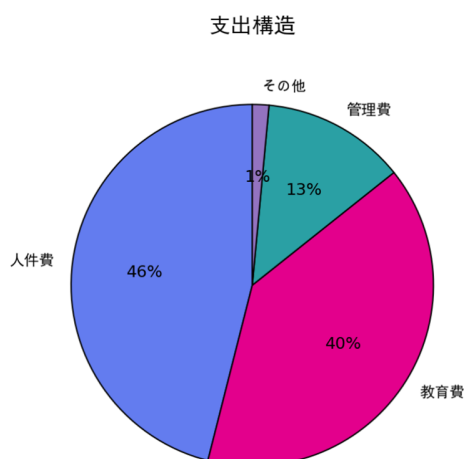
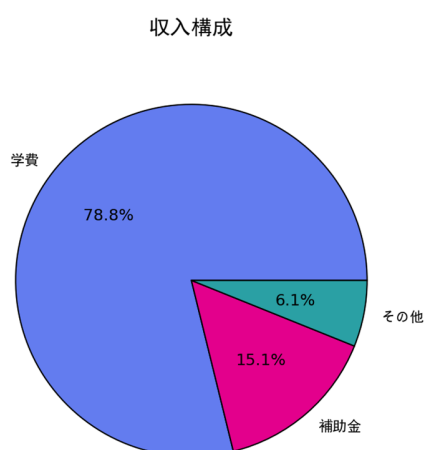
1. 全体像

- ・収入：約 34.7 億円（学費・補助金など）
- ・支出：約 40.2 億円（人件費・教育費など）
- ・差額：約△5.5 億円

※設備投資等を含むため、一時的な要因によるものです。収支差額のマイナスは、設備投資や減価償却費によるものであり、資金不足や経営悪化を示すものではありません

2. 収入・支出について

収入は学費が約 8 割を占め、安定した構造です。支出は人件費と教育費が中心であり、教育活動に重点的に資金を投入しています。



【グラフの見方】

- ・収入は学費中心で安定しており、支出は教育関連が中心となっており、教育に重点配分された構造となっております。

3. 財務の安定性

- ・純資産：約 135 億円（学校の財産）
- ・現金預金：約 12.5 億円（すぐ使える資金）
→安定した運営が可能な状態です

【用語の説明】

- ・純資産：保有財産（借入を差し引いたもの）
- ・現金預金：すぐに使用できる資金

4. 今年度の主な変化

- ・補助金の増加（外部資金の確保）
- ・教育費の増加（設備更新）
- ・人件費の増加（教育体制維持）

5. 見方のポイント

企業では利益が重視されますが、学校は教育を安定して継続できるかが重要です。

6. 総合評価

本学は、学費を中心とした安定した収入構造と十分な財務基盤を有しており、育活動に重点的に資金を配分しながら、安定した経営状態を維持しています。

まとめ

本校は教育に重点的に資金を配分し、十分な資産と資金を確保しながら安定した運営を行っています。学校法人は利益の大小ではなく、教育を安定して継続できるかが重要です。